

藤村とうそんの初恋

アンティーク着物で歌う



島崎藤村の「若菜集」「落梅集」の詩を
作曲家神尾憲一が楽曲化。
女優 源川瑠々子が独唱します。
美しい日本語を伝えたいという
想いのもと、
明治文学、藤村の詩の世界を
アンティーク着物の装いとともに。

歌唱：源川瑠々子 朗読：深雪さなえ ピアノ演奏：神尾憲一 作品解説：林田直樹 イラスト：わたせせいぞう

2023年6月7日(水) 開場13:30 開演14:00

場所 銀座王子ホール
東京都中央区銀座4-7-5

チケット 6,000円(税込)全席指定
前売り開始 2023年4月14日(金)

【後援】こもろ観光局、妻籠観光協会、信濃毎日新聞社【協賛】アロワナ(株)まるる事業部

アンティーク着物で歌う 藤村の初恋

チケット取扱

【前売開始】
2023年4月14日(金)

チケットぴあ

<https://t.pia.jp/>
Pコード: 239343

e+ (イープラス)

<https://eplus.jp/>

王子ホール チケットセンター

電話受付
03-3567-9990
(10:00~18:00土日、祝日休業)
インターネット受付
<https://www.ojihall.jp>

【お問合せ】

ライトリンク・ミュージック FC事務局

電話受付 03-5822-0318
(10:00~20:00)

解説 林田直樹

本公演にて林田先生の特別講座がございます。



島崎藤村が第一詩集「若菜集」を刊行したのは、1897年(明治30年)、25歳の年。さらに「一葉舟」「夏草」「落梅集」と計4作の詩集を1901年(明治34年)までに次々刊行している。以後藤村は散文、小説への道を辿り、二度と詩作には手を染めなかった。つまり藤村にとって詩はいつきの青春の輝きのような存在であった。同時にそれは、明治という時代の青春とも響きあっていた。

当時の日本は、恋愛すること自体が不道徳で反社会的とされた時代だった。恋愛は、家父長制に対する自我の反抗という性格を持っていた。そうした中で発表された藤村の恋愛詩は、自我意識の覚醒、感情・感覚の解放を促すのみならず、いつしか封建的意識解消の役割をも果たしたと伊藤信吉は指摘している。その一方で吉本隆明は、藤村の詩は解放ではなく、むしろ行き場のない自我意識・恋愛感情の鬱積であると指摘している。また鮎川信夫は、藤村は自我意識よりも芸術意識の勝った詩人であると述べている。

おそらくそのどれもが正しい。しかし、少なくともはっきり言えるのは、藤村の詩は、響きの上でも、内容の上でも、驚くほど音楽的な要素を含んでいるということである。これらの詩を全部頭で理解しようとするよりも、むしろ一行でもいい、何の変哲もない簡素な言葉が、この音楽的な韻律の中で、見事なまでに豊かなイメージを持ってくる——その響きを感覚でそれぞれが自由に楽しむべきものではないかと思う。神尾憲一の音楽は、藤村の詩が自然に導き出したかと思えるほど、詩との美しい調和をなしており、これらの詩句が私たちの心に流れ込んでくれるのを助けてくれる。シンプルで深い味わいのあるこれらの歌を、源川瑠々子がみずみずしい果実にも似た声で歌っているのも、詩の内容にはとてもふさわしい。ぜひ多くの方がこれをきっかけに藤村の詩に親しみ、そしてこれらの素敵な歌を口ずさむときがくればよいと思う。林田直樹(「初恋」ライナーノーツより)

林田直樹(はやしだ・なおき)プロフィール

1963年埼玉県春日部市生まれ。音楽ジャーナリスト・評論家。慶應義塾大学文学部仏文学専攻を卒業後、音楽之友社で楽譜・書籍・月刊誌「音楽の友」「レコード芸術」の編集を経て独立。オペラ、バレエから現代音楽やクロスオーバーまで、近年では美術や文学なども含む幅広い分野で取材・著述活動を行なう。

著書「そこにはいつも、音楽と言葉があった」(音楽之友社)、「ルネ・マルタン プロデュースの極意」(アルテスパブリッシング)、「クラシック新定番100人100曲」(アスキー新書)、「バレエ入門」(共著、ヤマハミュージックメディア)、他。インターネットラジオ「カフェ・フィガロ」(コロナ禍以降は新規収録を中止して再放送中)のパーソナリティを2005年より、「OTTAVA」プレゼンターを2007年の開局時より続けている。音楽之友社社外メディア・コーディネーター。

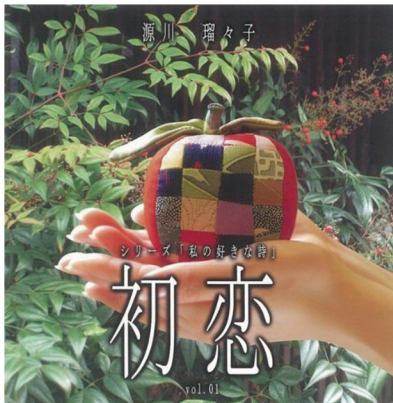
朗読 深雪さなえ



深雪さなえ プロフィール

福島県出身。声優。アニメ「幽遊☆白書」ボタン役、「ときめきトゥナイト」江藤鈴役。Eテレ「いないいないばあ!」くーたん役等人気番組に出演。俳協所属。2008年「アンティーク着物で歌う藤村の初恋」初演(長野県ツアー)に出演。着物を愛好し、自身の着物で島崎藤村の詩を朗読する。

島崎藤村の世界を歌う 「ここには、美しい日本語と、香り高いメロディがある」 林田直樹



詩: 島崎藤村 歌: 源川瑠々子
作曲・ピアノ演奏: 神尾憲一

初恋 LLCL1008

1. 初恋
2. 春の歌
3. 強敵
4. 明星
5. 海辺の曲
6. 浦島
7. 千曲川旅情のうた
8. 月光
9. 傘のうち
10. 東西南北

価格: ¥2,000(税抜)

源川瑠々子Instagram 初恋配信サービスはこちら



SRURUKO.MINAGAWA_OFFICIAL



ビギナーズ・レーベル
<http://www.lightlink.co.jp/beginners/>

ご住所、お電話番号を明記

- ① インターネット特設ページ
- ② 郵便はがきに、お名前 併号、

〒110-0052 東京都台東区柳橋
1-23-4 須賀ビル8階
ライトリンクミュージックFC事務局
「初恋俳句」係

WEBでの投函はこちらから



入賞作品はステージで発表。リサイクルを一緒に盛り上げましょう!

初恋にまつわる俳句募集

特別審査員

稲畑廣太郎先生(俳誌ホトトギス主宰)

■ 締切

令和5年5月7日(日) 消印有効

■ 応募資格

本公演にご来場を希望される方

■ 副賞

本公演のペアチケット

■ 作品

初恋にまつわるエピソードなど

■ 応募先

FC事務局

■ 応募方法

① インターネット特設ページ

スタッフ 【イラスト】 わたせせいぞう 【脚本】 スミダガワミドリ 【演出】 神尾憲一 【ヘアメイク】 渡邊栄子
【着付】 須田久美子 【音響】 山崎修治 【デザイン】 アロワナ(株)
【制作】 原田卓哉 飯村育代 【企画・製作】 (有) ライトリンク・ミュージック FC 事務局